

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 帯状疱疹入院患者における末梢血反応性リンパ球と臨床像についての仮説探索的観察研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 皮膚科 (研究責任者)筒井 ゆき</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2020年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 近年、帯状疱疹の発症や重症化、帯状疱疹後神経痛の発症に関わる免疫系があきらかになってきました。ウイルス感染症ではしばしばウイルスによって刺激を受け活性化したリンパ球(以下、反応性リンパ球)が血液中にみられることがあります。この研究では帯状疱疹で入院した患者さんの血液中に反応性リンパ球がみられていたか電子カルテを用いて調査し、その有無と症状や合併症との間に関連があるかどうかを調査します。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 入院中の採血検査データ(反応性リンパ球数)、入院中から退院後の外来での診療記録</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2014年4月1日~西暦2019年3月31日の間に当院皮膚科で帯状疱疹のために入院された15歳以上の方。</p>
<p><研究の方法> ① 対象となる患者さんの入院中の年齢、性別、反応性リンパ球の有無、皮疹の部位、汎発疹(帯状疱疹の皮疹の部位から離れたところに見られる水疱病変)の有無、合併症、免疫抑制薬の使用の有無、悪性疾患の既往の有無について集計します。 ② 反応性リンパ球の有無によって、調査した他の項目に差がみられるかどうかを調べます。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 皮膚科 氏名:筒井 ゆき 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2502 (PHS)8959</p>